

令和7年度

社会福祉法人

慈 福 会

事 業 報 告 書

令和8年5月

目 次

㊦成南地域在宅サービスステーション「めぐみ」

成南地域総合相談窓口「めぐみ」・・・・・・・・・・ 1～3

デイサービスセンター「めぐみ」・・・・・・・・・・ 4～7

グループホーム「めぐみ苑」・・・・・・・・・・ 8～12

ヘルパーステーション「いこい」・・・・ 13～16

㊦天下茶屋地域在宅サービスステーション「のぞみ」

天下茶屋地域総合相談窓口「のぞみ」・・・・ 17～18

居宅介護支援事業「のぞみ」・・・・・・・・・・ 19～22

デイサービスセンター「のぞみ」・・・・・・・・・・ 23～25

事務局事務報告・・・・・・・・ 26～27

令和7年度 事業報告書

社会福祉法人 慈福会 めぐみ
成南地域 総合相談窓口（ランチ）

1 成南地域総合相談窓口（ランチ）専任職員 南部 順一（令和7年4月～令和8年3月）

2 年間活動実績

相談件数 1034 件（訪問:598 電話:327 来所:109）
年度実人員 229 名
会議参加 74 件
外部研修 5 件

3 主催事業

・めぐみ喫茶	第3金曜日	13:00～14:30
・百歳体操と健康教室	第1、第3月曜日	13:00～14:30
・思い出教室	第2火曜日	13:50～15:00

4 相談業務内容

総合相談業務

【専門的継続的相談支援】

① 市長申し立てによる成年後見制度利用では、後見人1人に任せるのではなく、西成区役所・居宅介護支援事業所・親戚・近隣住民にも立ち合いを依頼し、支援ネットワークチームを構築。その後、入院や施設入所においても、後見人と施設に任せるのではなく、近隣住民・民生委員からの依頼もあって、施設入所後の訪問や自宅の管理（冷蔵庫・ブレイカー等）を実施。

② 引きこもりの次女を抱える高齢者のケースでは、母親の経済破綻が見えてきたため、居宅介護支援事業所・グループホーム・医療機関と支援ネットワークチームを構築。次女の意向を確認しながら世帯分離を図り、自立支援と生活保護申請を実施。親子の心情に寄り添いながら、次女の自立した在宅生活開始が達成。

【介護予防高齢者の把握と支援】

・地域行事を開催し、身体機能・認知機能・生活状況を確認。地域住民の情報収集を図りながら、必要な医療・介護及び社会資源の情報提供を図った。

【認知症高齢者の支援体制の構築】

・地域で「認知症サポーター養成講座」を開催し、地域で支援体制の構築を図った。

実態把握業務

【実態把握後の状況】

（ 見守り訪問・定期訪問 ）

・地域行事の案内配布による訪問実施。地域行事には参加しないが、ブランチ職員との会話には拒否なく応じる高齢者が一定数存在。

【地域との関係づくり】

（ 百歳体操・健康教室 ）

- ・DVD による百歳体操、理学療法士によるリハビリ体操・脳トレ体操・レクリエーションを実施。参加者の身体機能及び認知機能の変化の把握に務めた。
- ・毎週月曜日に上記を実施していたが、9月より月2回に変更。ボランティア講師の理学療法士が多忙になったことと、DVD による百歳体操に地域住民の飽きを感じられるため。千本地区は地域行事が多いためか、欠席者も多い。そのため、きちんと月2回に参加してもらうことに切り替えた。

（ めぐみ喫茶 ）

- ・地域住民との交流を通して、地域の情報収集及び地域の現状把握に務めた。
- ・併設グループホーム利用者の参加を継続し、「認知症カフェ」としての機能も維持。

（ 思い出教室 ）

- ・生演奏で昭和の歌謡曲を唱歌。嚥下機能の維持と改善を図った。（口腔リハビリ）
- ・音楽療法と回想法で脳の活性化を図った。（認知機能のリハビリ）
- ・認知症状のある高齢者の居場所作りと活動拠点構築を図った。

権利擁護業務

【成年後見制度に関する実施状況】

- ① 7月サービス利用調整会議に参加。その中で、養護者の認知症に関する理解の欠如が判明。地域で開催される「認知症サポーター養成講座」に参加を提案。養護者は熱心にメモを取り、「来てよかった」と発言。養護者に今までの現状を振り返る機会を提供し、家族支援による虐待防止を達成しつつある状況。
- ② 地域行事で「高齢者虐待」の周知活動を実施。

【虐待に関する実施状況】

- ① 7月サービス利用調整会議に参加。その中で、養護者の認知症に関する理解の欠如が判明。地域で開催される「認知症サポーター養成講座」に参加を提案。養護者は熱心にメモを取り、「来てよかった」と発言。養護者に今までの現状を振り返る機会を提供し、家族支援による虐待防止を達成しつつある状況。
- ② 地域行事で「高齢者虐待」の周知活動を実施。

主催事業

【百歳体操 & 健康教室】 ★予約制

日時 第1、第3 月曜日 13:00~14:30
場所 社会福祉法人 慈福会めぐみ 3階会議室
内容 百歳体操 リハビリ体操 脳トレ体操 レクリエーション
対象 千本地域住民及び周辺地域住民
体制 講師（理学療法士） ボランティア ブランチ職員

目的

- ① 地域住民に外出する機会・運動する機会・他者と交流する機会の提供
- ② 下肢筋力の低下を改善し、転倒や歩行困難を予防
- ③ 自宅でできるリハビリ体操・脳トレ体操を紹介

【めぐみ喫茶】

日時 第3 金曜日 13:00~14:30
場所 社会福祉法人 慈福会めぐみ 3階会議室
内容 飲み物とおやつを提供
対象 千本地域住民及び周辺地域住民
体制 ボランティア 社会福祉法人慈福会めぐみ職員 ブランチ職員

目的

- ① 地域住民に外出する機会、交流する場の提供
- ② 総合相談窓口（ブランチ）の周知活動及び地域高齢者の現状把握
- ③ 併設グループホームめぐみ苑の参加を支援し、「認知症カフェ」としての機能を構築

【想い出教室】

日時 第2 火曜日 13:30~15:00
場所 千本北 福社会館
内容 生演奏による昭和歌謡の歌唱
対象 千本地域住民及び周辺地域住民
体制 地域住民 地域活動協議会 ボランティア ブランチ職員

目的

- ① 嚥下機能の改善と維持による口喉のリハビリ
- ② 音楽療法と回想法による認知機能のリハビリ
- ③ 認知症状のある地域住民の居場所作りと活動拠点を構築

➤ デイサービスセンター めぐみ 令和7年度 事業報告書

(1) 令和7年度 年間目標と評価

目 標	評 価
利用者の確保	少しずつ増えてはいるが、目標には達していない。 コンスタントに営業活動に出る事が出来ていなかったのも、来年度は出るように意識していきたい。 休みがちな利用者が来所したくなるような工夫が必要である。
感染症対策	対策できていた。 来年度もうがいや換気等の基本的な対応を続けていく。
職員の質の向上	内部研修に重点を置き、職員全員が意識することが出来た。 利用者の情報共有もこまめに行うことが出来ていた。 数名の職員が同じことをしていることが多かったのも、うまく連携して日々の業務に取組み効率化を図りたい。
機能訓練の見直し	午後からの歩行訓練に参加される方が増えて来ている。 帰宅時などの隙間時間に YouTube などから体操の動画を流すようにしている。取り組まれる方が何人かおり、機能訓練の時間にも上手く取り入れていきたい。
行事・レクリエーションの見直し	コロナ前に好評だった夏祭りとうどんすきを6年ぶりに復活させることが出来た。月に1回の行事を楽しみにして下さっているとの声も聞かれるようになってきている。 レクリエーションのバリエーションを増やし全員の参加を促していきたい。

(2) デイサービス利用者月次推移状況

月・要介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比(%)
要支1	0	0	1	5	4	7	12	8	5	3	4	4	53	1
要支2	17	18	17	17	18	18	17	17	17	18	16	18	208	5
要介1	74	71	57	72	67	60	64	53	58	53	50	57	736	16
要介2	53	47	41	43	50	41	60	56	63	52	47	52	605	13
要介3	77	84	72	94	95	95	100	108	114	112	100	100	1151	25
要介4	56	57	58	60	61	42	42	32	37	36	35	38	554	12
要介5	105	99	86	127	102	109	122	109	109	108	95	100	1271	28
おためし	2	0	1	2	3	5	3	1	1	0	1	1	20	0.4
延 数	384	376	333	420	400	377	420	384	404	382	348	370	4598	100
日数	25	24	25	26	25	24	26	23	24	23	23	25	293	
月平均	15.4	15.7	13.3	16.2	16.0	15.7	16.2	16.7	16.8	16.6	15.8	14.8	15.7	

(3) 行事実施状況

月	行事内容	内 容 と 評 価	費用 (円)	担当
4 月	お花見	園庭での写真撮影とプチケーキ・コーヒーと紅茶の提供。 春の暖かさが感じられ、好評だった。	4,078 円	関谷
5 月	たこ焼き	各テーブルで利用者さんの近くで焼きながらの提供が出来た。目の前でアツアツのたこ焼きに喜ばれ、たくさん召し上がっていた。	2,618 円	稲福
6 月	わらび餅	手作りのわらび餅を利用者さんの前で切り分けて、良く冷やして提供する。目の前で冷やしているので、「もう少し食べたい」とよくおかわりされた。	1,249 円	植野
7 月	冷しぜんざい	手作りのぜんざいを冷やして、おもちの代わりにバニラアイスに乗せて提供する。冷たくて美味しいと好評だった。	1,110 円	関谷
8 月	夏祭り	6年ぶりの夏祭りで経験のない職員ばかりだったが、多数のボランティアの協力もあり大盛況だった。	17,831 円	稲福 糸洲
9 月	敬老会	ポッチャ大会を行う。 終了後に水ようかんをほうじ茶で一息ついて頂いた。	1,436 円	植野
10 月	運動会	紅組と白組に分かれ、玉入れ・リレー・綱引きを行う。 普段のレクリエーションでも練習し、楽しんで頂いた。	0 円	関谷
11 月	ホットケーキ	各テーブルで焼きたてのホットケーキを食べて頂く。 おかわりの要求が多く、大変好評だった。	2,597 円	稲福
12 月	うどんすき	令和元年11月以降中止となっていたが感染症も落ち着いており実施する。食材が高騰している中だったが、職員と利用者が一緒に食事する機会となり喜んで頂けた。	21,862 円	糸洲
1 月	足湯	恒例となっている足湯で体まであたたまると好評であった。 足湯の後はケーキを提供する。	1,609 円	関谷
2 月	ぜんざい	手作りのぜんざいを提供する。甘すぎず美味しいとの声もあり、普段あまり召し上がらない方も完食さ出来ていた。	2,654 円	稲福
3 月	ひな祭り	ひな人形前での写真撮影・ひな祭り体操の後に手作りの三色ゼリーを提供。見た目も良く好評だった。	1,484 円	糸洲
計		(予算： 80,000 円)	¥ 58,528 円	

(4) 介護報酬・行事費・おやつ代月次推移表

月	介護報酬 (万円)	行事費用 (円)	おやつ代 (円)
4 月	3,532,327 円	4,078 円	9,345 円
5 月	3,467,473 円	2,618 円	0 円
6 月	3,025,988 円	1,249 円	4,019 円
7 月	3,647,278 円	1,110 円	5,368 円
8 月	3,515,645 円	17,831 円	5,913 円
9 月	3,446,284 円	1,436 円	835 円
10 月	3,807,743 円	0 円	7,421 円
11 月	3,310,549 円	2,597 円	0 円
12 月	3,476,974 円	21,862 円	6,494 円
1 月	3,473,028 円	1,609 円	5,202 円
2 月	3,206,314 円	2,654 円	2,507 円
3 月	3,265,750 円	1,484 円	0 円
合計	41,175,353 円	58,528 円	47,104 円
平均	3,431,279 円	4,877 円	3,925 円

(5) 職員研修受講状況

研修日	研 修 内 容	受講者名
5 月 12 日	緊急時の対応	職員全員
6 月 23 日	倫理及び法令遵守	職員全員
7 月 15 日	カスタマーハラスメント	職員全員
7 月 19 日	尊厳の保持	職員全員
8 月 12 日	高齢者虐待	職員全員
8 月 18 日	身体拘束	職員全員
8 月 21 日	権利擁護	職員全員
8 月 23 日	非常災害時の対応	職員全員
8 月 24 日	災害時の BCP (業務継続計画)	職員全員
8 月 25 日	感染症の予防及びまん延防止	職員全員
10 月 18 日	入浴介助	職員全員
10 月 20 日	ハラスメント	職員全員
10 月 21 日	プライバシー保護	職員全員
10 月 23 日	安全な送迎の取り組み	職員全員
11 月 5 日	感染症発生時の BCP (業務継続計画)	職員全員
11 月 14 日	初めてのポジショニング	関谷
12 月 25 日	事故防止	職員全員
2 月 16 日	介護事業所におけるリーダー養成研修	糸洲

(6) 職員状況 (令和8年3月末現在)

職 種	常 勤	非常勤
管理者	糸洲 安芸子 (兼務)	
看護師		廣田 美穂
		藤本 通子
生活相談員	糸洲 安芸子 (兼務)	
	稲福 麻子 (兼務)	
介護職員	稲福 麻子 (兼務)	石田 美和
	関谷 知之	
	ダン ティ トウオン	
(計)	4名	3名

(7) ヒヤリ・ハット・事故状況

日 付	内 容
4月2日	リフト浴のベルト装着が緩く、本人が臀部を前方にずらして肩まで浸かろうとする
5月17日	片麻痺の利用者の立ち上がりの際、ポジションが悪くふらつく
6月24日	リフト浴浴槽内でうたた寝され、顔が湯船に浸かりそうになっている
7月8日	自宅内の移動中、靴下が滑りバランスを崩す
7月18日	一般浴内、足が浮いてしまい元に戻せなくなる
8月19日	更衣の際に椅子に座り損ねる
9月26日	手引き歩行の介助中、利用者が手を放し後方にふらつく
10月2日	リフト浴用の椅子での洗身中、石鹸で臀部が滑って落ちそうになる
11月1日	浴室で椅子に座り損ね転倒する
12月3日	車いすに乗った利用者が靴を履き替えようと前屈みになり後輪が浮いてしまう
12月4日	浴後に携帯酸素の栓を開け忘れる
1月24日	入浴中に前腕部の皮膚剥離をしてしまう

(8) 水質検査結果報告

日付	委託業者名	検査結果
6月16日	中央微生物検査所	異常なし
12月2日	中央微生物検査所	異常なし

(9) ボランティア・実習

ボランティア		
受け入れなし		
職場体験実習		
11月13日・14日	大阪市立成南中学校	2名

➤ グループホームめぐみ苑 令和7年度 事業報告書

(1) 令和7年度の目標に対する評価

目 標	評 価
入居者様の声や希望を拾い上げ、当苑のモットーである「入居者様が好きな事を、好きな時に好きなだけ出来るように努めます。」を実現できるように取り組む。	季節にちなんだお菓子や行事を行い入居者様に季節感を感じて頂けるように工夫しました。 入居者様に日々の生活を穏やかに安心して暮らしていただけるように、入居者様や家族様は勿論、職員間でもコミュニケーションを大切に、ケアプランに反映していけるように努める。
認知症対応型施設として専門性の高いサービスを提供する。	外部研修にも積極的に参加し、認知症の専門知識を習得でき知識やノウハウを内部で共有することができました。 継続して内部・外部の研修を増やせるように図り、職員の知識の向上と意識を高く保てるように努める。
地域に根ざした開かれたグループホームを目指す。	コロナウイルス感染症が5類になった事もあり、地域行事、交流の場へ参加することができました。 運営推進会議は対面にて年6回開催することができました。 今後も交流ができるように努める。
安全な環境作りを行い防災意識日ごろから高める。	定期的に全館総合の避難訓練やグループホームのみの避難訓練を行っている。また、入居者様に事故なく安全に暮らしていただける様に月に1度、居室やフロア内の環境整備を行っている。
感染症の予防・対策。	職員は出勤前後に体温測定を行い、不織布マスクの着用を徹底している。勤務中は手洗い・手指消毒の徹底と、定期的な換気と消毒を行っている。

(2) 職員研修受講状況

研 修 日	研 修 内 容	受講者
5 月	身体拘束の事例	全員
7 月	介護施設における感染症の発生に対する具体的対応	全員
8 月	BCP について・リスクマネジメント	全員
9 月	スピーチロックと心理的虐待	全員
11 月	身体拘束廃止・高齢者虐待・介護施設における感染症の発生に対する具体的対応（冬季に流行する感染症）	全員
12 月	介護施設の事故と実態と対策	全員
1 月	津波想定避難について（BCP）	全員
2 月	身体拘束ゼロの手引き・施設職員のための高齢者虐待	全員
3 月	人権について・ハラスメント対策	全員

(3) 行事報告

月	行 事	内 容 と 評 価
4月	お花見	桜が満開の花壇で、昼食会を開催しました。仕出しの花見弁当と職員の手作り酢豚を召し上がっていただきました。満開の桜を背景に記念撮影し、おやつは桜餅を召し上がっていただきました。 笑顔で箸を進められている姿が印象的でした。
5月	節句	端午の節句なので、新聞紙兜を作り昔を思い出し楽しんでいただきました。おやつには柏餅をいただきました
6月	外食行事	今回は鰻重をテイクアウトし、皆さんに召し上がっていただきました。
7月	七夕	短冊にそれぞれ願い事を書いていただきました。お昼ごはんには彩鮮やかな冷やしソーメンをいただきました。
8月	納涼祭	苑内で職員と入居者様のみで納涼祭を開催しました。フロアー内を提灯で飾り付けし、お菓子釣りのゲームや焼きそば、クリームあんみつ等を提供しました。
9月	敬老祝賀会	懐石弁当と手作り料理等の豪華版で皆さんも「ものすごくおいしい」と喜ばれ笑顔が多く見られました。
10月	外食行事	回転寿司（くら）へ行きました。苑外で食事する機会が余りいので楽しく好きなお寿司を食べていただきました。
11月	たこ焼き	皆で、たこ焼きをつくる課程から楽しみ、一段と美味しいたこ焼きをいただきました。
12月	クリスマス会	今年のXmas会は全ての料理を手作りしました。グリルチキン・ミニステーキ・オムライス・色鮮やかな温野菜・コーンスープ等々、Xmasパーティーを楽しんだ。おやつ時はビンゴゲームで盛り上がりイチゴショートケーキをいただきました。
1月	年越し・正月	皆さん大好きな鉄板焼き・鍋料理・夜はおせち料理をいただきました。おでんも前日から煮込み（しみしみおでん）が好評でした。
2月	節分	恒例の豆まきは、豆菓子（個包装の甘納豆）を提供し節分ソングを聴いたり歌ったり楽しみました。夕食のメインは鰯の梅肉和えを召し上がっていただきました。
3月	桃の節句	雛飾り前で写真を撮影し、おやつ時には桜餅をいただきました。
全体評価	体調管理をしながら、予定行事を送ることができたと思われます。	

(4) 入所者状況 (3月末日現在)

性 別		介 護 度	
		要支援2	0名
		要介護1	3名
男性	7名	要介護2	2名
女性	2名	要介護3	2名
		要介護4	1名
		要介護5	1名

(5) ヒヤリ・ハット報告

区分	日	時	内 容	処 置 対 応
女性	5月15日	15時頃	無断で外へ出ようとされる。	職員間声かけ・見守りを徹底する。
女性 女性	7月5日	16時	苑内を自由に歩いているA氏に対し、B氏が強い口調で文句を言われ口論になる。	職員が間に入り一時的に場の距離を置いていただいた。
女性 男性	7月7日	17時頃	A氏「あんたにお金渡した」 B氏「貰ってない」と口論になる。 A氏は怒りB氏を坐布団で叩こうとしトラブルになる。	職員が仲裁に入り、お金の受け渡しはしない旨説明する。 出血・痛みの確認をする→外傷訴えなし。
女性 女性	7月12日	9時前	A氏は突然B氏へ文句を言いだされ口論となる。A氏は益々怒りだし手を挙げ足蹴りされようとする。	職員が直ぐ仲裁に入り、一時的にその場の距離を置いていただいた
男性 女性	8月22日	9時	A氏はB氏ジロジロ見られている と思い、大声で何か言っている。	職員が仲裁に入り話を聞く。 自席は隣同志であったが机を離し別席とする。
女性 男性	8月29日	9時	A氏とB氏は、フロア自席にて会話されていたが、A氏は突然自席に置いてあった上着でB氏を叩こうとされ、トラブルとなる。	職員が直ぐに仲裁に入り、一時的に場の距離を置いていただいた。
女性	11月5日	14時前	無断で外に出ようとされる。	職員と一緒に苑を一周する。
男性	1月14日	19時過	A氏居室ら出て来られTV視聴中のB氏を指差し「アイツに何もやった らアカンで！悪い事ばかりして る」と大声で叫びながらB氏に近づいて行かれる。	職員がなだめ居室に戻ってもらう。

(6) 事故報告

区分	日	時	内 容	処 置 対 応
男性	6月9日	10時頃	右上腕に紫から黄色になった内出血を発見する。	主治医に報告し指示を仰いだ。バイタル測定、痛みの有無を確認し、受診の意志を確認する。
男性	6月21日	17頃	席から立ち上がろうとされた時にバランスを崩して尻餅をつかれる	主治医に報告し指示を仰いだ。バイタル測定、痛みの有無を確認し、受診の意志を確認する。
男性	8月15日	11時前	下唇に皮膚保湿クリームが乗っていた。	クリームを取り除き口腔内を確認する。ヨダレを拭き取りうがいをしていただいた。
不明	9月14日	6時過ぎ	キッチン内に配膳したパンが1個無くなっていた。捨ててあるパン袋を確認すると1個余分にあった。	配膳済のパンをカゴに戻し都度パンカゴから提供し、再発防止に努める。
男性	10月4日	夕食前	夕食後、服薬予定の記述を見落とし薬の添付ができてなかった。翌朝他の職員が気付く。	薬に対するチェックを徹底し再発防止努める。
女性	11月5日	16時過	朝から体調不良な様子だったので職員も気にかけて移動中同行していたがバランスを崩し、2人共尻餅をついた。	本氏車いすに移動してもらい痛みの有無確認しバイタル測定し様子を見る。 左記のような状態の時には車いすを準備して傍に置いておく。
男性	1月18日	9時過ぎ	A氏の部屋からドスンと音がする見に行くとA氏壁際に座り込んでいる。状況確認すると「足が纏れた」と言われる。職員が介助しベッドへ移動する。	痛みの有無確認しバイタル測定する。異常なし。リハビリパンツ更衣時に臀部の赤み腫れない事を確認する。
男性	2月13日	9時過ぎ	A氏のダンス中からドーナツ発見する。夜間帯に持ち帰ったと思われる。	おやつ等保管場所への施錠。
女性	2月26日	9時頃	A氏椅子の下に降圧剤が落ちているのを職員が発見する。	その薬はA氏のための処方薬である事を主治医に報告し指示を仰ぐ。
女性	3月10日	8時過ぎ	A氏がグループホーム外のトイレを使用しているのに気付かず仕切りドアの施錠してしまった。	見守りの徹底。

(7) 令和8年3月現在

雇用	職 務	氏 名	資 格
常勤	管理者兼介護計画担当者	中尾 和代	介護支援専門員・介護福祉士
	介護職員	神長 貴子	介護支援専門員・介護福祉士
	介護職員	武田 節子	介護福祉士
	介護職員	大野 博	実務者研修
計	(4名)		

雇用	職 務	氏 名	資 格
非常勤	介護職員	梅谷 陽子	介護福祉士
	介護職員	山内 清美	介護福祉士
	介護職員	グエン ティ ニュン	
	夜勤専従	8名	介護福祉士・看護師
	(11人)		

➤ ヘルパーステーション いこい 令和7年度 事業報告書

(1) 令和7年度の目標に対する評価

目 標	評 価
※利用者、売上金額の増加	利用者、売上金額 共に目標に達せず
ヘルパーのスキルアップ	6/28 土) 事業所にて研修 利用者について意見交換会 災害時の対応について・
※常勤・非常勤ヘルパーの確保	常勤 採用無し 非常勤 (パート含め) 採用無し 退職者 . 常勤 無し 非常勤 (パート含め) 1名

(2) 職員研修受講状況

研 修 日	研 修 内 容	受講者
5月28日	西成区福祉事業者連絡会総会	木村
月 日		

(3) 苦情報告

日 付	苦 情 内 容	対応者	対 応 結 果
4月7日	買い物時、お札ばかりを出し、小銭を使って くれない。	木村	H・H 確認・注意
6月16日	冷凍食品を温め、味付けをせずそのまま出さ れた。	木村	H・H 確認・注意
12月15日	在庫を確認せず、同じ商品を購入していた。	木村	H・H 確認・注意

(4) 介護サービス情報の公表

指定調査機関	介護サービス情報公表センター
報告の提出期限	令和7年10月14日
訪問調査日	
公 表 日	令和7年12月26日
更 新 日	

(5) 利用者要介護度別月次推移表

区 分 月	要 支 援		要 介 護					利用 者 合 計 数	新 規	中 止
	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5			
4月	3	7	11	5	5	2	2	35	0	0
5月	3	7	12	4	5	2	3	36	0	0
6月	3	7	11	5	5	2	3	36	0	0
7月	3	7	12	3	5	2	3	35	0	2
8月	3	8	11	4	5	2	2	35	1	0
9月	3	8	11	4	5	2	2	35	0	1
10月	3	8	10	5	5	2	2	35	0	1
11月	3	8	10	5	4	2	1	33	0	0
12月	3	9	10	4	4	1	2	33	1	0
1月	3	9	10	4	5	1	2	34	0	0
2月	3	9	10	5	5	2	2	36	2	0
3月	3	10	7	6	5	3	2	36	1	1
計										
比 率 (%)										

※ (新規・中止は、要支援1・要支援2・要介護に変更になった利用者も含む)

※ 利用者様 要介護度別グラフ (構成比率)

(6) 介護報酬月次推移表

月	介護報酬 (万円)	月	介護報酬 (万円)
4月	208.5 万円	10月	182.2 万円
5月	225.6 万円	11月	172.1 万円
6月	200.1 万円	12月	194.5 万円
7月	192.4 万円	1月	187.0 万円
8月	190.9 万円	2月	191.4 万円
9月	213.4 万円	3月	万円
		合計	万円

(7) 職員状況 (令和7年3月現在)

雇用	職 務	氏 名	資 格
常勤	所長	永田 明彦	ヘルパー1級
	サービス提供責任者		
	管理者	木村 麻由美	介護福祉士・ヘルパー2級
	サービス提供責任者 (兼務)		
	訪問介護員	中川 幸枝	ヘルパー1級
計	(3名)		

雇用	職 務	氏 名	資 格
非常勤	訪問介護員 (登録)	竹下 愛子	ヘルパー2級
	訪問介護員 (登録)	吉崎 みさゑ	介護福祉士・ヘルパー2級
	訪問介護員 (登録)	中野 加代美	ヘルパー2級
計	(3名)		

Ⅱ 天下茶屋地域在宅サービスステーション のぞみ

➤ 在宅介護支援センター事業のぞみ 令和7年度 事業報告書

(1) 在宅介護支援センター専任職員

氏名 佐藤 志保理

(2) 年間相談活動実績 (R8.4.1 現在)

相 談 内 容	相談件数
経済・生活問題	376 件
福祉サービスに関する事	254 件
保健・医療サービスに関する事	82 件
介護サービスに関する事	188 件
生きがいづくり	185 件
その他	254 件
(相談合計件数)	1298 件
(相談実人員)	114 人

(3) 相談方法

1)訪問	565 件
2)電話	605 件
3)来所	120 件
4)その他	9 件

(4) 介護予防普及のための教室・講演会

名 称	対象	実施回数
いきいき百歳体操 & 懐メロ歌体操 & コグニサイズ (主催)	地域高齢者 生活支援コーディネーター 天下茶屋ランチ	86 回
ボッチャ (主催)	地域高齢者 生活支援コーディネーター 天下茶屋ランチ	21 回
手作り倶楽部倶部 (主催)	地域高齢者 東部地域包括支援センター 天下茶屋ランチ	46 回

健康講習	地域高齢者 天下茶屋ランチ	3回
財産管理講習	地域高齢者 天下茶屋ランチ	1回
自転車規制 2025	地域高齢者 天下茶屋ランチ	1回
東部包括 フリースクール (参加)	地域高齢者、西成区社協 生活支援コーディネーター、 見守り相談室、西成区オレンジチーム、東部地域包括 支援センター、山王ランチ、天下茶屋ランチ	8回

(5) 大阪市ひとり暮らし等高齢者支援事業

0件 登録

(6) 勉強会・連絡会・在介啓発活動等

包括・ランチ連絡会議 11回	ネットワーク委員会の会合 1回	民生委員協議会 1回
ほっと！ネット西成連絡会議 4回	地域ケア会議 2回	地域ケア会議以外の個別ケース 会議 0回
西成区地域包括支援センター 運営協議会 3回		

(7) ランチ必須研修受講状況

研修日	研修内容
R7.7.9	成年後見制度利用促進研修 基礎編
R7.8.22	地域ケア会議の効果的展開～多職種連携におけるファシリテーション
R7.10.9	認知症の方とともに生きるネットワークづくり (介護支援専門員への研修会)
R7.10.27	高齢者の権利を守る経済的虐待の判断と対応のポイント(高齢者虐待対応中堅期研修)
R7.11.12	多職種で支える高齢者主体の在宅医療・介護の在り方を考える(西成区在宅医療・介護連携推進事業)
R7.11.20	精神疾患への理解と支援
R7.11.27	西成区労働福祉センターについて(社会福祉協議会)
R8.3.3	成年後見制度利用促進研修会(応用編)

(8) まとめ

・ケースに応じて、地域包括支援センター、社会福祉協議会、ケースワーカー、ケアマネージャー、医療機関の連携室相談員、あんしんさぼーと、地域の大家、いちょうの会の司法書士、養護施設

などの関連機関と連携し、支援者の課題解決に取り組むことができた。

- ・「百歳体操、ボッチャ、手作り倶楽部」などの天下茶屋ランチでの行事や、老人憩いの家で「お善哉販売」などの行事でランチのチラシを配布し、どのような支援をしているかの周知活動を行った。また、健康講習や財産管理講習、自転車新規製の講習などを行い、自宅訪問で面識はあるがランチへ来所されたことの無い方にお声掛けをし参加して頂いた。社会との繋がりが希薄になっている方にも少しずつではあるが繋がりの再構築を促すことができた。今後も講習会を企画し継続していきたい。
- ・国民年金受給者の中には、生活費の捻出のため、介護保険の利用料を節約し介護サービスを使わないという方が増えてきている。高齢者ではリハビリデイサービスなどの利用で筋力低下を予防することが望ましいが、それらの利用に至る以前に外出事体が減っておりフレイルに陥っている方も見受けられる。まずは人との触れ合いに慣れて頂くため百歳体操参加を促しているが、来所されるだけで体力消耗されている様であり、来所後に百歳体操をとると辛いと感じ参加が続かない要因になっている感がある。昨年度の事業計画としていた「歌唱倶楽部」が諸事情により実現できていないが、他ランチでは、「レコードを聴く」や「なつめる歌唱」などが好評を得ているため、来所を目的とした行事の1つとして引き続き検討していきたい。

➤ 居宅介護支援事業 のぞみ 令和7年度 事業報告書

(1) 職員及び担当件数状況 (R8.3.31 現在)

介護支援専門員 (2 名)			
職員名	津島 礼司	谷川 裕実	
介護給付 (件) 65 件中	33 件	31 件	
予防給付 (件) 23 件中	11 件	12 件	

(2) 居宅介護支援介護給付費月次推移表 (※は見込み)

年・月	介護給付		予防給付	
	件	円	件	円
R7年4月	52 件	714,410 円	18 件	82,087 円
R7年5月	50 件	693,316 円	17 件	73,525 円
R7年6月	51 件	698,720 円	18 件	82,087 円
R7年7月	50 件	686,088 円	17 件	73,525 円
R7年8月	54 件	743,844 円	16 件	69,200 円
R7年9月	51 件	695,106 円	16 件	69,200 円
R7年10月	53 件	719,258 円	15 件	64,875 円
R7年11月	52 件	716,912 円	16 件	73,437 円
R7年12月	53 件	730,100 円	16 件	73,437 円
R8年1月	52 件	721,360 円	16 件	69,200 円
R8年2月	55 件	775,658 円	15 件	64,875 円
※R8年3月	62 件	901,056 円	24 件	153,077 円
計	635 件	8,795,828 円	204 件	948,525 円

(3) 利用契約者数の状況

年 月	新規契約 () は 予防	予防給付へ 移行 (原案作成)	契 約 終 了			
			利用中止	居宅介護 支援事業者 等変更	転居・施設等 入所・長期 入院	死 亡
R7年4月	0 (1)	0	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
R7年5月	0 (0)	0	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
R7年6月	1 (1)	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
R7年7月	0 (0)	0	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)
R7年8月	2 (0)	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
R7年9月	2 (0)	0	0 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)
R7年10月	0 (0)	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
R7年11月	1 (1)	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
R7年12月	0 (1)	0	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
R8年1月	0 (0)	0	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
R8年2月	1 (0)	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
R8年3月	10 (6)	1	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合 計	17 (10)	1	0 (2)	0 (0)	5 (1)	4 (1)

(4) 職員外部研修受講状況

日 時	研修内容	受講者名
令和7年6月11日	主任介護支援専門員法定外研修 『障がいの理解(障がい特性、制度、支援など)』	津島礼司、谷川裕実
令和7年6月14日	主任介護支援専門員法定外研修 『介護現場に ICT の風を』	谷川裕実
令和7年7月15日	主任介護支援専門員法定外研修 『生活困窮者の理解と支援の多様性』	津島礼司、谷川裕実
令和7年8月23日	主任介護支援専門員法定外研修 『適切なケアマネジメント手法(大腿骨頸部骨折の理解)』	谷川裕実
令和7年9月11日	主任介護支援専門員法定外研修 『居宅介護支援事業所等の災害時 BCP 研修及び訓練を一緒にしましょう』	津島礼司
令和7年10月16日	主任介護支援専門員法定外研修 『管理職員が推進する利用者向上のためのリスクマネジメント～現場での実践について考える～』	津島礼司

(5) 各連絡会・勉強会参加状況

日 時	勉強会等内容	出席者名
令和7年6月18日	自立支援型ケアマネジメント検討会議(小会議)	谷川裕実
令和7年7月23日	西成区中ブロックケアマネ勉強会「高齢者結核の特徴について」「HIV/エイズについて」	津島礼司
令和7年10月22日	西成区中ブロックケアマネ勉強会「令和8年4月からの道路交通法改正」「ヤングケアラー・生活困窮者支援について」	谷川裕実

(6) 指導及び監査

日 時	名 称	出席者名
令和7年6月16日	大阪市集団指導(オンライン指導)	津島礼司
令和8年3月4日	介護保険事業者調査(ケアプラン点検)	津島礼司、谷川裕実

(7) 介護サービス情報の公表

指定調査機関	大阪市介護サービス情報公表センター
報告の提出期限	令和7年9月25日
訪問調査日	無し
公 表 日	令和8年1月19日

(8) 特定事業所集中減算状況

前期 (3月～8月)	摘 要	訪問介護	通所介護	福祉用具貸与
	事業所名	(社) 慈 福 会 ヘルパーステーション いこい	(社) 慈 福 会 デイサービスめぐみ デイサービスのぞみ	株式会社トーク 21 株式会社トーク 21
	紹介率	50.4 %	70.9 %	17.9 %
後期 (9月～2月)	摘 要	訪問介護	通所介護	福祉用具貸与
	事業所名	(社) 慈 福 会 ヘルパーステーション いこい	(社) 慈 福 会 デイサービスめぐみ デイサービスのぞみ	株式会社トーク 21 株式会社トーク 21
	紹介率	42.5 %	70.2 %	18.5 %

(9) まとめ

- ・居宅介護支援、ランチの合同会議を事業所内で毎月 1 回開催しており、その際に利用者情報を共有することで、担当者が不在であっても対応できるような体制を整えた。
- ・外部研修参加について、主任介護支援専門員の資格更新要件である、主任介護支援専門員法定外研修を優先して受講した。それにより本年度で津島、谷川ともに更新要件を満たすことができた。
- ・支援困難事例にも対応できるよう、日頃より区役所、地域包括支援センター、ランチ、医療機関、その他事業所等の多職種と密な連携を図った。
- ・令和 8 年 3 月 4 日に大阪市による介護保険事業者調査（ケアプラン点検）が行われた。
調査を受けた内の利用者 2 名(各 1 か月ずつ)のモニタリングが行えていないとの指摘あり。
その利用者 2 名の該当月は介護給付費が 50%の運営基準減算となり、過誤請求を行った。
その他については概ね良好にケアマネジメント業務を行えているとの講評であった。

令和 7 年度

デイサービスセンターのぞみ

事業報告書

(1) 令和 7 年度 年間目標と評価

目標	評価
職員の定着とチームワークの構築	常勤、非常勤職員の雇用時間を工夫することで職員数の最低維持はできた。しかし体調不良や家族の看護にて急な休みが発生すると代替え職員が不足することがあった。休み中のサービス内容変更等は分かるよう申し送りを徹底している。
感染症の予防	感染症に対して職員全員で研修を行うことで感染症への意識は向上している。職員はこれまで通りマスク着用し送迎車等も消毒を行う
利用者数の確保と維持	長年ご利用していただいている方の高齢化に伴い利用者数の減少となる。おためし利用を新規利用に繋げられるように心がけている。細かなニーズに応えられるように職員のスキルアップを行う
無事故を目指す	転倒やひやりはつが数件あったが大きな事故にはならなかった。ヒヤリハットの段階で職員の動きを改善するよう終礼等で申し送りを行った
レクリエーションの充実	個別で対戦できるレクリエーションを多く取り入れたことにより、全員参加できる事が多くなった

(2) デイサービス利用者月次推移状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比率
要支援1	9	7	8	9	3	5	4	4	4	4	4	7	68	1%
要支援2	27	24	23	27	25	17	16	15	15	13	16	18	236	5%
要介護1	33	37	25	25	47	58	54	60	44	48	47	45	523	11%
要介護2	99	102	103	116	108	108	108	103	90	63	50	53	1103	24%
要介護3	80	70	52	60	53	75	70	56	51	80	85	88	820	18%
要介護4	53	39	26	28	28	31	35	40	27	25	43	51	426	9%
要介護5	117	126	149	136	133	126	113	111	116	105	85	89	1406	31%
日数	26	25	25	27	26	26	27	25	24	24	24	26	合計人数	4590
月平均	16.1	16.2	15.4	14.8	15.2	16.2	14.8	15.5	14.5	14.1	13.8	13.5	年間平均	15.0

		行事内容と評価	費用	担当者
4月	花見	2階にて桜で写真撮影。水ようかんを提供し、春を感じていただく	¥3,110	柴田
5月	工作・おやつ	藤の花を作成し藤棚作りを行う おやつは好評の水ようかん提供	¥1,866	柴田
6月	たこやき	屋台でたこやきを提供する。おいしいと好評	¥3,784	柴田
7月	ゲーム・おやつ	ピンポン玉を使ったゲームと好評の水ようかん提供。多いに楽しまれる	¥1,866	柴田
8月	工作・おやつ	工作でぶどうを作成しかざりつけを行う。おやつはプリン提供	¥2,512	柴田
9月	ミニ盆踊り	皆で輪になり法被で盆踊りを開催。多いに楽しんでいただけた	¥2,177	柴田
10月	工作と焼き芋	デイ玄関に展示する秋桜を工作。屋台で焼き芋を提供。好評	¥5,155	柴田
11月	工作 ぜんざい	12月にすぐ飾れるよう早めに工作サンタクロースを作成しぜんざいで秋を感じていただく	¥5,844	柴田
12月	クリスマス会	地域の方の手作り市着をビンゴで選んで頂く。大きなシェークリームを提供する	¥4,860	柴田
1月	書初め	書初めを行い、水ようかんを提供	¥1,555	柴田
2月	節分 ぜんざい	職員が鬼に変装し新聞で作成した豆まきの風習を楽しめた	¥2,726	柴田
3月	雛飾り・工作	お雛様を皆で飾り、工作(フェルト花飾り)と甘納豆と昆布茶	¥1,289	柴田
		予算	合計費用	¥36,744

(4) 介護報酬・行事費用・おやつ代・その他の費用(※3月分介護報酬は見込み)

	介護報酬	行事費用	おやつ代 その他
4月	¥3,726,035	¥3,110	¥0
5月	¥3,630,467	¥1,866	¥6,006
6月	¥3,230,488	¥3,784	¥0
7月	¥3,225,018	¥1,866	¥7,649
8月	¥3,232,906	¥2,512	¥0
9月	¥3,653,136	¥2,177	¥5,420
10月	¥3,238,254	¥5,155	¥12,337
11月	¥3,179,793	¥5,844	¥0
12月	¥2,791,682	¥4,860	¥7,582
1月	¥2,628,889	¥1,555	¥0
2月	¥2,899,721	¥2,726	¥2,726
※3月	¥2,948,744	¥1,289	¥1,289
合計	¥38,385,133	¥36,744	¥43,009

(5) 職員外部研修受講状況

(5) 職員外部研修受講状況

[illegible]

研修日	内部研修内容	受講者氏名
5月	倫理 プライバシー	職員全員
7月	ハラスメント	職員全員
8月	高齢者虐待防止 身体拘束	職員全員
9月	BPC	職員全員
12月	感染症	職員全員
1月	認知症	職員全員
3月	虐待防止	職員全員

6) 職員狀況(令和 8年3月末現在)

職種 管理者	常勤 永田 千佳	非常勤
看護師		中村 裕美 メディカルコンシュルズ派遣
生活相談員	永田 千佳(兼務)	牧 道(兼務)
介護職員	柴田 かおる 徐 碩	牧 道 中村 浩 前田 甚一
合計人数	名	名

(7) 水質檢查結果報告

日付	委託業者名	検査結果
6月4日	中央微生物検査所	10cfu/100ml未満
12月3日	中央微生物検査所	10cfu/100ml未満
その他特記		

(8) ひやり・はっと・事故報告書

日付	内容	日付	内容
4月1日	T氏着脱室椅子から立ち上がりの際、ふらつき転倒(臀部、頭部)打撲 受診	8月22日	職員のミスにより汚染した衣類にハイターを直接かけてしまい弁償する
6月11日	M氏リフトチェアからの移乗時、フットレスにくるぶしが接触し擦り傷あり	9月11日	M氏湯船内で手すりない所で両下肢が浮いてしまう
7月14日	M氏着脱室にてリフトチェアへの移乗介助3名にもかかわらず床へ転落	9月26日	K氏のそみ玄関で目定し玄関内の勾配で玄関外まで動いてしまう
7月14日	帰宅準備の送迎車でバックした際、後方に自転車で待っていたT氏に接触し転倒する。大事に至らずであった	12月3日	K氏浴後の上がり湯の際、他者を避けようとし後方にしりもちをついてしまう。臀部に赤みあり
7月16日	ベットでオムツ装着時、パーテーションが倒れる。K氏の腰あたりに当たってしまう。傷、痛みなし	3月11日	派遣看護師による誤薬
8月2日	帰宅送迎中、対向車を避ける為バックした際、利用者家族に声をかけられ注意がそれてしまい近隣の停車自転車に当たりブレーキ部分を破損させてしまう		

(9) ボランティア・実習生状況

ボランティア			職場体験実習			
日付・曜日	氏名	内容	日付	実習部	学校名	氏名

令和7年度 社会福祉法人慈福会 事務局 事務報告

1、法人の概要 (沿革)

①平成9年11月1日	基本金1,000千円 運用資金94,983千円をもって法人設立委員会が設置された。
②平成9年11月15日	施設建設に向けて、準備委員会が設置された。 設立地を大阪市西成区千本北2丁目12番地2号として法人申請を届け出た。
③平成10年3月20日	大阪市より法人認可がされ、同23日設立した。
④平成10年5月16日	第1回法人理事会が開催された。 同日、デイサービス事業、グループホーム事業等の具体的な計画が示され、理事会で承認された。
⑤平成11年3月18日	成南地域の施設が竣工し「めぐみ」と命名された。
⑥平成11年3月25日	同 グループホーム「めぐみ苑」の入居が始まった。
⑦平成11年4月1日	同 デイサービス「めぐみ」が事業開始された。
⑧平成12年12月22日	2か所目の施設が天下茶屋地域で竣工し「のぞみ」と命名された。
⑨平成13年1月4日	同 デイサービス「のぞみ」が事業開始された。 同 在宅介護支援事業として配食サービスを開始した。
⑩平成14年4月1日	ヘルパーステーション「いこい」が事業開始された。
⑪平成22年10月21日	ヘルパーステーション「いこい」が天下茶屋地域へ引っ越した。
⑫平成26年12月1日	慈福会のホームページを開いた。

2、理事等の役員及び職員 (令和8年3月末現在)

理事長 浦上理恵

常務理事 山田愛子

理事 魚本利彦、倉知大、山田泰平、中井俊仁、中尾和代

監事 黒田全紀、原正一

評議員 森川博、児玉富士夫、松代いさ子、河嶋郁子、吉田玲子

林由香里、福本康行、東野正嗣

評議員選任解任員 奥野喜與久、石水晋、井塚弥生

◎令和7年5月 理事会、評議員会開催

(事業報告、決算についての認定)

◎令和8年3月 理事会、評議員会開催

(事業計画、予算についての認定)

3、苦情解決規程に定める第三者委員

成南地域サービスステーション

児玉富士夫 (千本地区民生児童委員長)

天下茶屋地域サービスステーション 井端 貞子(聖天下1 南町会女性副部長)

4、職員構成

施設長2名、所長1名、管理者5名、相談員2名

常勤職員19名、事務職員2名、非常勤職員13名、夜勤専従8名

資格別 介護福祉士13名、主任介護支援専門員2名、介護支援専門員8名、
看護師・准看護師14名、社会福祉士3名、サービス提供責任者2名、
社会福祉主事1名、ホームヘルパー1級2名、ホームヘルパー2級16名、
認知症介護基礎研修修了3名、シルバー人材センター1名
上記人数は職種兼務や複数資格取得者がいます。

職員合計 52名

5、事務業務の概要

事務業務を総務、人事、庶務、経理に分化して事務効率の向上と専門性を高めたことにより、今年度も、提出書類の申請、保管書類、公文書管理等の合理性を継続して発揮することができました。

(介護職員処遇改善加算届)

◎平成21年度より、介護職員の処遇改善の取組として、平成23年度まで実施していた「介護職員処遇改善交付金」の相当分を介護報酬に円滑に移行するために、厚生労働省の方で経過的な取扱いとして、介護職員処遇改善加算を創設された。当法人は賃金改善等の実施を令和6年度も継続し処遇改善加算届を大阪市へ申請いたしました。

(総務関係) その他補助金の申請

◎労働保険確定申告・社会保険算定基礎届・年末調整及び給与支払報告・36協定届
社会保険・労働保険各種給付申請、大阪市大阪府補助金申請等を行いました。

◎社会福祉施設等に対する物価高騰対応支援金事業にかかる交付申請

◎大阪府介護人材確保・職場環境改善等事業補助金の申請

(施設管理関係)

◎年2回の消防訓練の実施・消防設備点検及び特殊建築物整備検査報告を行いました。

(経理関係)

◎経理事務管理については、引き続き日本経営に委託し、決算書類の制度化、簡素化に努めました。又、新会計基準に移行済みです。

まとめ

令和7年度も、様々な部署、個所で業務が円滑に遂行できるよう見直しや改善を進めてきました。今後も、介護保険法改正に伴う就業体制の確立、ランニングコスト・設備改修等のインシヤルコストについて、財源の確保も含めて、計画的に、その準備を怠らないようにしたいと考えています。

